



# いきいき 学びのプラン

【生涯学習計画】市民だより／58号  
(平成28年9月1日発行)  
《発行》岸和田市・岸和田市教育委員会  
《編集》岸和田市教育委員会 生涯学習課  
〒596-0072  
岸和田市堺町1-1  
(市立公民館・中央地区公民館内)  
電話：072-423-9615～6  
FAX：072-423-3011  
メール：syogaig@city.kishiwada.osaka.jp

## 保育指導者とは？

保育指導者は学級生の自主保育の指導や手助けをしています。

## 家庭教育学級とは？

子育て中の大人たちが子どもの成長に関わる様々な課題を考え、学ぶ場として、教育委員会が開設している自主保育付の学級です。保育は、ただの一時預かりではなく、学級生同士が、預ける側と預かる側になりながら、保育指導者と協力して「子どもたちにとって」という視点で運営を考えています。



家庭教育学級の夏のイベント風景



つやま さなえ  
津山早苗さん

家庭教育学級どんぐり出身。  
NPO法人「ここからkit」  
保育サポーターなど、親子に関わる活動を幅広くされています。

たけす えみ こ  
竹末美恵子さん

家庭教育学級たんぼぼ出身。  
定期講座「親子でWAO！」  
岸和田女性会議事務局など積極的に活動されています。

ひとが笑く。

家庭教育学級の保育を支える、お二人にお話を伺いました。

## 保育指導者を始めたきっかけは？

竹末さん

結婚を機に、岸和田市に引っ越してきました。たんぼぼ家庭教育学級に誘われ参加したところ、学びに対して意欲的な学級生の姿に感銘を受けました。そして、自主保育にも驚きました。※保育委員会に参加することで、年上のママたちから様々なことを教えてもらえることが、楽しくて仕方ありませんでした。自分自身がつらい時も公民館活動に助けられました。それがきっかけとなり、我が子が幼稚園に入ってから、保育指導者を始めました。

※保育委員会  
保育付学級の交流会。遊びやおやつなど保育に関する情報交換の場。(現在は休止)

津山さん

高石市から、岸和田市に引っ越してきました。その際、どんぐり家庭教育学級に参加しました。知らない土地で、自分の居場所ができたと感じました。また、学級生の時に子どもが生まれました。私自身、学級に残りたいという気持ちが強くなり、0才児の子どもと共に参加しました。ほとんどが保育室での学習でしたが、そこで学んだことを、次の人にも伝えたいと思い、保育指導者を始めました。



色ぬりをしている子どもたち

## 保育室に入るとき、大切にしていることは何ですか？

安全が一番大切です。保育の時には、その日の子どもの状況を聞き、帰りには保育室の様子を伝えます。コミュニケーションをとることで、保護者との信頼関係が生まれ、安心して子どもを預けてもらえるようになります。

あえて言うなら『親も勉強、子ども勉強』です。子どもを預けるのは、親の活動のために、子どもの存在が邪魔だからではありません。子どもは子どもで、保育室の中で学ぶ権利があります。保護者と離れることもまた勉強なのです。



保育室で遊ぶ子どもたち

## 現在の子育て世代に向けてエールを願います

満点を目指す必要はありません。半分くらい頑張ればそれでいいんです。それが『良い加減』なんです。周りにはたくさんの方がいます。無理せず、周りを巻き込めたら、してあげたらいいんです。



保育風景 魚釣りゲーム

## 取材を終えて

「保育者が楽しめば、子どもが楽しんでくれる。子どもが楽しんでいけば、親も楽しい」とお二人はお話されていました。本当にその通りで、保育室でのお二人はとても楽しそうでした。それにつられて子どもたちも楽しそうでした。こちらも楽しい気分になりました。『親も子ども、それぞれの場所で学び成長する』そんな環境がとても素晴らしいと感じました。